

令和7年12月10日

真野のひろば

発行：真野地区公民館 電話 58-7120



学びの「秋」、その1 真野地区文化祭の報告

10月25日(土)、26日(日)、真野ふるさと会館を会場に真野地区文化祭が開催されました。この日を目指して創作活動に取り組んでいた方々の作品がずらりと展示され、参観者を魅了していました。作品を通して、製作者と参観者相互の交流もあり、それぞれ芸術の秋を楽しんでいました。会場で交わされた会話をピックアップして、紹介いたします。

「あざやかな色ですね！ どうしたら、こんな色にできるのかな？」 「焼き釜の温度調整で、色合いがうまくいったかどうか決まるのです。出来具合が分かるのは釜から出したときで、作品との出会いが一番ドキドキします。」

(焼き物コーナー)

「面白！ 楽しそうに描いているね」
(真野第1保育園児コーナー)



「なかなかよくできているではないか。」
「願いが込められたゆめいっぱいの作品だね。」
(真野つ子アトリエコーナー)



「制作に、どれくらいかけていますか？」 「約一年間です。」
(編み物コーナー)

「滑かな筆遣い」
(書道コーナー)

「上手な表現で、つい思い出してしまうよ」
(川柳・俳句コーナー)



真野地区芸能祭のお知らせ

期日：令和8年2月22日(日)

会場：真野ふるさと会館

本年度は、自主学習グループの発表だけでなく、個人で取り組まれている趣味の芸能・芸術も発表できます。ただいま募集しています。どうぞ真野地区公民館までお申し込みください。

「それぞれ流派を踏まえつつ、流派を超えて、個性豊かな生花作品となっています。」と、指導者の方（生花コーナー）

「かんなクズでこんな素晴らしい作品ができるなんて、驚き」（真野婦人会コーナー）



「繊細で配色あざやかな作品に驚き」（ちぎり絵コーナー）

「文字より絵が多くを語ってくれています。」（真野の里・あすかの郷コーナー）



ゆっくり、じっくり見よう（鑑賞者席）

学びの「秋」、その2 講演会の報告

11月は公民館主催真野歴史講演会と青少年健全育成協議会主催家庭教育講演会が真野ふるさと会館で開催されました。「初めて知ることが多くあり、興味・関心をもちました。」「これから的生活に役立たせます。」等の感想が多く寄せられました。「学び」の輪が広がっていくことを願って紹介します。

真野歴史講演会

11月16日（日）
講師：山田詩乃武 様



開講式

演題「順徳天皇～才めいて鮮やか～」
講演会参加者の感想

- ・順徳天皇は、故山本修之助様が、「文学の天皇」と、呼ぶくらい第1級の学者だった方とは、初めて知りました。
- ・父譲り、父を上回る武断的気性を併せもっていたので、幕府は恐れ、父親より都から遠い佐渡に島流しにしたわけが分かった。
- ・西三川砂金山、飛鳥の里など真野地区の歴史を改めて知りたいと思った。

家庭教育講演会

11月21日（金）
講師：山崎里美 様



ペアで有効なコミュニケーションの取り方を体験する。

演題「子どもの心が動き出す！親子のコミュニケーションの鍵～子どものが話したいと自然に思う言葉かけ～」

講演会参加者の感想

- ・黄金のルール（共感、問い合わせ、8秒待つ）この3つの大切さが分かった。
- ・言葉のかけ方ひとつが、心が開くか、閉じるかの鍵を握っていることを学んだ。
- ・素晴らしい講演だった。参加者が少なかったのが残念だった。